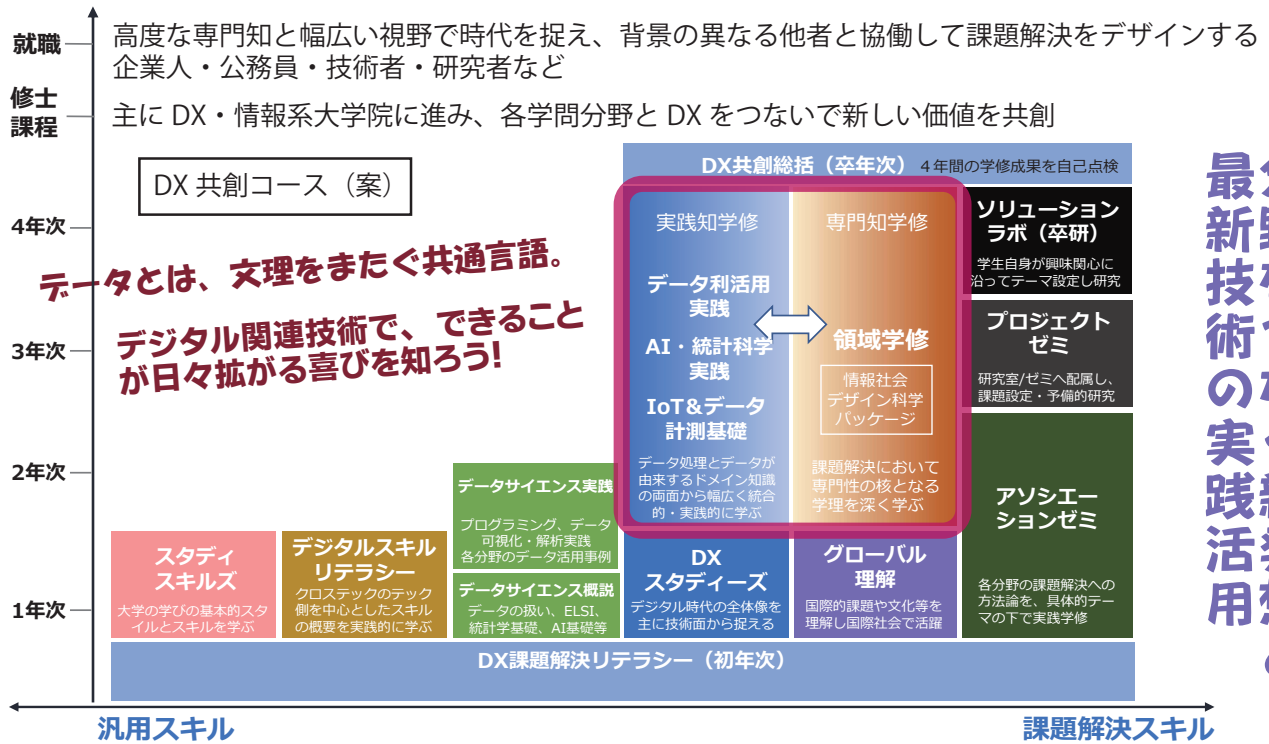


- DXやデータサイエンス、AI、ICT関連技術を軸として社会に貢献したい。
- 高校で数IIIとってないけど、実は理工系の分野も好き or 興味がある。
- 自分には縁遠い分野と思うけど、でも使えれば可能性が広がると思う。

創生学部DX共創コースは、そんなあなたを応援します。

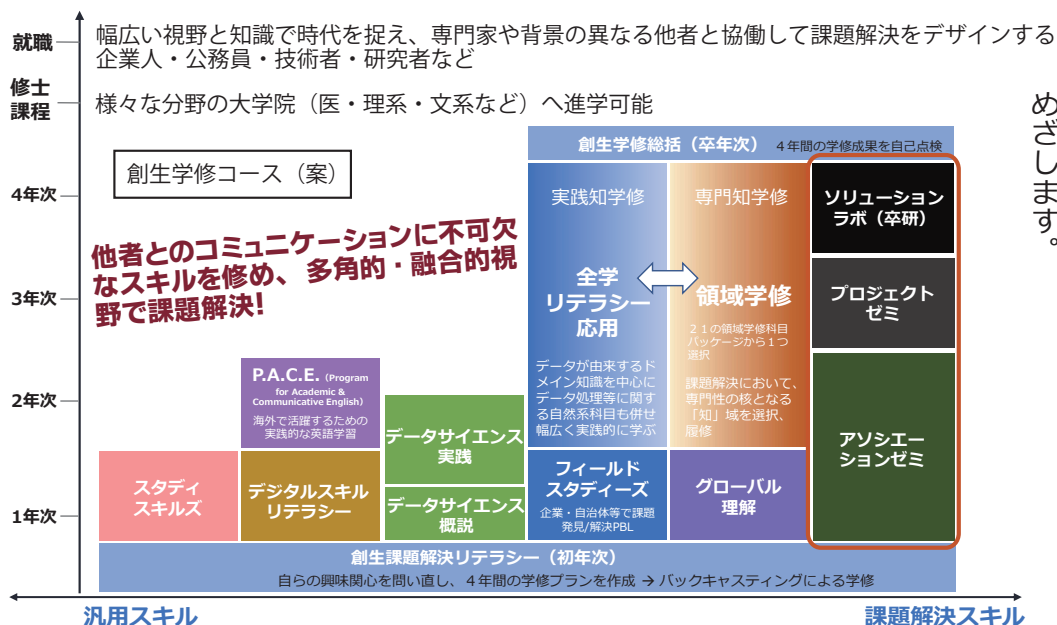
入学後の学修イメージ



分野をつなぐ最新技術の
実践活用と
新発想

創生学部は、「文系理系の区別がない学部」です。理系の学生はもちろん、いわゆるソフト理系の学生や文系学生についても、高度なデータサイエンスやDX・AIなどの先端技術について基礎から無理なくしっかり学べます。高校数学+αを学生主体のピアラーニング形式で学ぶ機会も用意し、数学に不安がある学生も手厚くサポートします。

創生学修コースも、社会のニーズに応じて ^{一部} リニューアル



ゼミ・ラボについては、両コースの学生が協働するコース横断型です。2つのコースの学生が交流・協力して、新しい研究テーマの創造と課題解決をめざします。

新しい学びの形 ～創生学部～

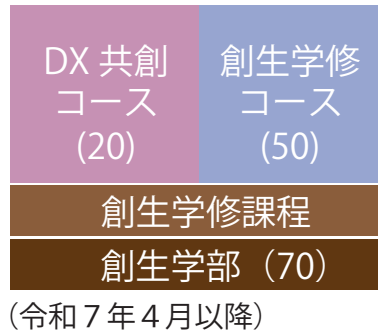
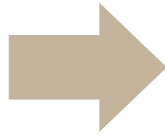
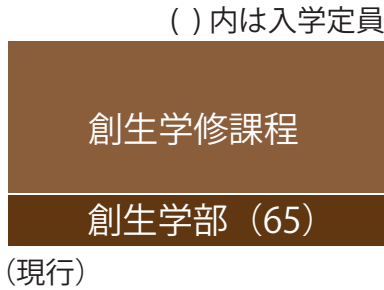
高校生のみなさんへ

～自分を創る、学びの場～

創生学部で、自分の未来を創るチャレンジをしてみませんか。様々な専門性を持つ私たち教員が、皆さんの進む道をしっかりサポートします。

創生学部長 中村 隆志

創生学部改編の全体像



ゼミやラボでの活動等を通じて、多様な背景を持つ学生がデータを仲立ちとして協働し、複雑な社会課題を多角的に理解し、解決する力を養う。

創生学部の学びのスタイルと各コースの特色

創生学部では、他者との協働に向けたグループワークを教育活動の様々な場面で取り入れています。他者との協働においては、コミュニケーションが鍵となることから、学生は、2年次に実践英語とデータサイエンスのいずれかまたは双方を集中的に学修し、コミュニケーションの幅を広げていきます。また、学生が主体的に選ぶ課題に関連する諸分野の知識を修得しながら、俯瞰的で多角的な視野から課題を捉え、課題解決を実践していきます。

創生学修コースとDX共創コースでは、目指す人材像は共通ですが、前者では主として課題と関連する諸分野の知識を軸とした学修を、後者では主にデータ・デジタル関連技術を軸とした学修を進めていきます。

【創生学修コース】主として課題と関連する諸分野の知識を軸とした学修を進める。

【DX共創コース】主としてデータ・デジタル関連技術を軸とした学修を進める。

DX 共創コースと創生学修コースの比較

項目	DX 共創コース	創生学修コース
入試科目	一般選抜：従来通り 総合型選抜：理系科目選択型	従来通り
育成する人材像	多面的で複雑化した課題を抽出し、その解決に必要な知識を獲得できる。持続可能性と一人ひとりの多様な幸せ (well-being) を目指す Society5.0 の実現に向け、分野の異なる他者と協働し、論理的思考と科学的根拠に基づいて、広く社会課題の発見とその解決を先導する。	
学びの方向性	データ・デジタル関連知識の側面から課題を捉えた価値創造とデジタル社会・生活デザイン。 主としてデータ・デジタル関連の知識や技術を軸とした学修を主体的に進める。	社会での実践や社会観察を踏まえ、幅広い視点、知見、汎用的スキルをベースに課題解決・価値創造をデザイン。 主として課題と関連する諸分野の知識を軸とした学修を主体的に進める。
領域学修科目パッケージ	情報社会デザイン科学パッケージ	21 の領域学修科目パッケージから1つを選択
期待される進路・役割像	多様な他者と協働して DX 社会へと変革するリーダー 大学院進学、企業、公務員など 旧来の価値観に囚われずに興味関心のある業界に進み、DX・データ系の知識や技術を活かして協働して社会変革を共創	多様な他者と協働して課題解決を主導するリーダー 企業、公務員、大学院進学など 高いデザイン力やコーディネート力、多角的視野を活かし、他者と協働しながら価値創造や社会課題の解決を主導

情報社会デザイン科学パッケージ (仮称)

工学部工学科知能情報システムプログラムおよび協創経営プログラム、(人文社会学系教員の提供科目を含む) その他多様な分野の科目から、創生学部生用に再構成されたパッケージ (科目群) です。

創生学部

学生定員の拡充 & 2コース設置

社会を的確に捉え、課題解決や価値創造へ向かう目的は共有しながら、アプローチが異なる2コース制へ!

(現行)

学部	課程	入学定員	募集人員		
			一般選抜	総合型選抜	
			前期日程	理系科目選択型 (概ねの募集人員)	文系科目選択型 (概ねの募集人員)
創生学部	創生学修課程	65人	45人	10人	10人

(定員増・2コース設置後：案)

学部	課程	コース	入学定員	募集人員		
				一般選抜	総合型選抜	
				前期日程	理系科目選択型 (概ねの募集人員)	文系科目選択型 (概ねの募集人員)
創生学部	創生学修課程	創生学修コース (仮称)	50人	30人	10人	10人
		DX共創コース (仮称)	20人	15人	5人	—

創生学部へは文理双方から受験できますが、入学後は様々な学問分野への理解を深めた後、自らの興味関心に沿って課題やテーマを設定します。文理や学部・分野の枠を超え、国立総合大学である新潟大学の教育研究資源を丸ごと使って自ら学びを創り、探究を進めていきます。

オープンデータで見る

文理融合で進める、

DX 共創コースへの期待と魅力

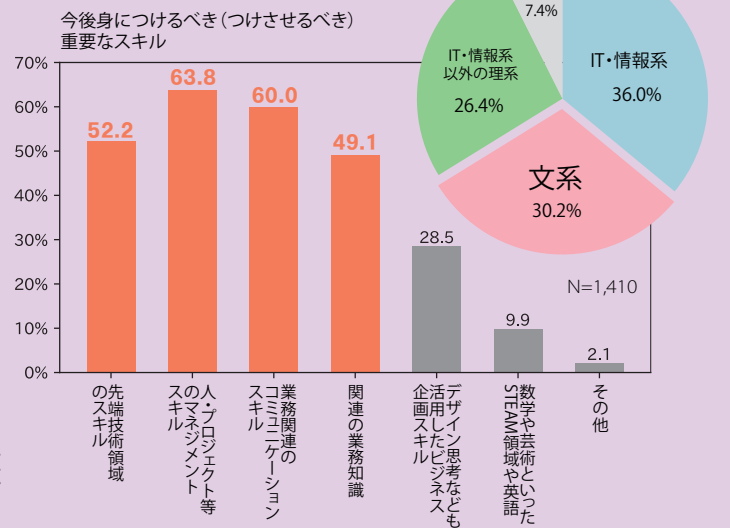
DXとは、データのデジタル化、各種デジタル関連技術を用いた業務の効率化・生産性の向上を経たのち、新規製品・サービスの創出、さらには新しい価値の創出やビジネスモデルの根本的な変革へ至る一連のプロセス。

多様な背景を持つ他者を巻き込んだ「共創」によるデジタル時代の課題解決 & 価値創造力を修得します。

DX 共創コースでは、文系の生徒でも理系の生徒でも、基礎から無理なくしっかりと実践的な学びができる一方、大学院進学に必要な専門性もしっかり身につきます。

あなたの好奇心に、応えます。

情報処理推進機構による
企業アンケート調査結果



情報処理推進機構 IT人材白書 2020 図表 3-4-6 および DX 白書 2023 図表 4-56 を基に作成